



第1804回 例会

2011-12年度RI会長:カルヤン・パネルジー
 第2640地区ガバナー:大澤 徳平
 創立:昭和49年5月15日
 会長:上原俊宏
 幹事:佐田一三
 会報:榎本真弓



VOL.38 No.8

2011年 9月7日 (水)

事務所:田辺市下屋敷町81 - 10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会:毎週水曜日 12:30 ~

司会者

上原 俊宏会長

唱歌



"君が代"
 "それでこそロータリー"
 谷中 順次郎君

出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
49名	4名	10名	77.78%
8月24日 修正出席率 82.22%			

ニコニコ箱

(敬称略)

堀さん卓話頑張ってください。

藍畑、後藤、平野、本田、片井
 木村、小山、楠本、森本、佐田
 武田、竹村、玉置、上原、吉本

堀プシで頑張ってください。

谷中

堀さん、台風の被害はなかったですか？

花が心配です。 吉田

台風、大変でしたね。

安井

台風12号の災害は大変な被害です。私共のドコモ
 ショップ店員も1名道路が寸断されて、出てこれ
 ませんでした。皆様も注意して下さい。 岡本
 先週早退お詫び。 西谷

大雨で被害にあわれた方々、お見舞い申し上げま
 す。9月18日、日本で最後のインディーカーレー
 ス観戦して来ます。 北村

小倉さん、お世話になりました。

畑地

誠っちゃん、お久しぶりです

坂本

会長席のお花頂きます。

中嶋

本人誕生日

畑地、楠本

涙ぐむ 過ぎし日の おもひでや。

げにわれは うらぶれて ここかしこ

さだめなく とび散らふ 落葉かな。

上田 敏 『海潮音』より

会長報告

本日のプログラムは会員卓話として堀 龍雄君です。
 後ほど宜しくお願い致します。
 ガバナー事務所より「地区大会事務所開設のご案内」
 が届いております。掲示板に掲示しております。
 9月11日(日)泉佐野市での米山記念奨学委員長会議
 に出席予定の、クラブ委員長の玉置君、地区委員の坂
 本君、宜しくお願いします。

米山記念奨学会より感謝状
 が届きました。

功労者 吉田 和枝君



来週9月14日の例会後に定例理事会を開催します。
 理事・役員の方はご出席くださいますようお願い致し
 ます。

会長報告の前に・・・

台風一過、天高く、季節は明らかに肥馬の候となっ
 てきました。ふと、庭先を見ますと、秋に落葉するツタが
 かなり落ち葉しています。通常の落葉は直下に落ち、落
 葉帰根となるのですが、時に風などが吹くと予定通りには
 行きません。そう多くはないのですが、さまよう枯れ
 葉、落葉が出てきます。そこで、枯れ葉を。いや、落葉
 を。

落葉(おちば) ヴェルレーヌ「秋の歌」

秋の日の 草 オロンの ためいきの
 身にしみて ひたぶるに うら悲し。

鐘のおとに 胸ふたぎ 色かへて

幹事報告

例会日時変更

和歌山東RC 9月22日(木) 時間:午後6:30~

場所:ダイワロイネットホテル和歌山4F

(傘寿・喜寿・還暦会員お祝い例会)

回覧

- ・「ロータリーの友」英語版注文案内(10月14日締切)
- ・「シーカ77号」

掲示

- ・堀龍雄君が東北へ行かれた時の写真を掲示しています。
- 連絡

・9月のロータリーレートは 1ドル=78円です。

～ 堀 龍雄 君 ～



防潮堤（ぼうちょうてい）

ゼロメートル地帯など内陸部の地盤高の低い地帯に対して、海水の浸入や氾濫（はんらん）を防ぐための堤防をさす場合と、内陸地盤高によらず、高潮、高波、津波などの非常時に際し、海水の浸入や海岸欠壊を防止するための堤防をさす場合とがある。しかし、現今では両者を含めて、非常の際に対処できるように、コンクリートもしくは土堰堤（えんてい）をコンクリートやアスファルトで完全に被覆した堤防をいう。防潮堤の形状は敷地取得面積の大小により、直立型か、前面勾配（こうばい）が一对1～2程度の傾斜堤となる場合とがあるが、前面堤脚部を強固にする必要がある。

防潮堤

台風などによる大波や高潮、津波の被害を防ぐ堤防のこと。より正確には、高潮による災害を防止するため設置された堤体、壁体、水門等の構造物、及び護岸、取付道路等の附属物をいう。

防波堤

外洋からの波浪を防ぎ港湾の内部を安静に保つため、もしくは津波の被害から陸域を守るため、海中に設置された構造物。

防潮堤・・・波や高潮から守る。

防波堤・・・守るのは波だけ。

太田名部漁港を襲った津波

= 3月11日午後3時27分頃

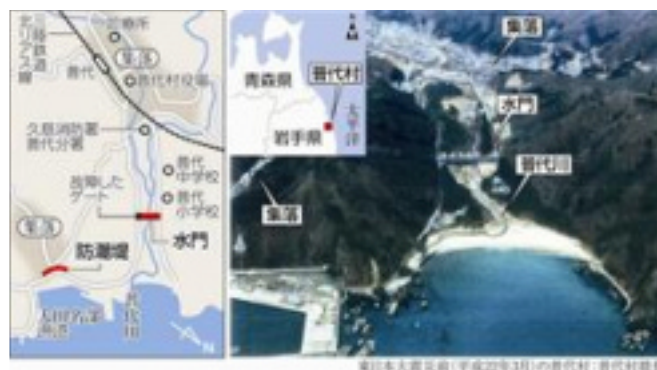
東日本大震災による津波で壊滅的な被害を受けた三陸沿岸にあって、岩手県普代村は死者ゼロ、行方不明者1人とどまった。被害を食い止めたのは、かつて猛反対を受けながらも村長が造った高さ15.5メートルの防潮堤と水門。そして震災当日の消防士の献身的な行動だった。



津波から一夜明けた普代村太田名部地区。左側の漁港は壊滅的な被害を受けたが、防潮堤をはさんだ集落は被害を免れた = 3月12日午前



4月9日、上の写真とほぼ同じ場所から撮った太田名部漁港。防潮堤右側の集落の家屋に、津波による浸水の被害が無かった分、復旧は早かった。だが、漁業への甚大な被害から立ち直るにはまだまだ、時間がかかりそうだ



15.5メートルの巨大防潮堤と水門の位置関係図（写真は東日本大震災前 普代村提供）

編集後記

今回の台風12号の被害は甚大でしたね。改めて、水の威力を思い知らされました。沢山の死傷者が出て、本当に残念でたまりません。田辺でも、あちらこちらで土砂崩れが起き、今まで経験した事のないような凄い災害でした。田辺から新宮までは当分の間中辺路ルートは不通みたいです。新宮が一段と遠くなりました・・・より早い復旧を期待したいですね。